

荒浜中

街道歩きと踊りで達成感



これがイチオシ はらこ飯 作って食べて

はらこ飯は、私たちの地域荒浜発祥の郷土料理です。サケの切り身やはらこを煮て、その煮汁で味付けしたご飯の上に盛りつけた料理です。

荒浜中学校では昨年度、地域の方に教えてもらいながら、はらこ飯を作りました。アドバイスをもらいながら、みんなで協力しておいしいはらこ飯を作ることができました。

お店や各家庭で作り方や味付けが微妙に違い、さまざまな味を楽しむことができます。ぜひ、おいしいはらこ飯を食べに荒浜を訪れてください。

学校名 巨理町立荒浜中学校
所在地 宮城県巨理町荒浜東木倉70の1
創立 1947年
電話 0223(35)2425
校長 堀内 恵理子
生徒 58人

荒浜中学校には地域と関わりが深い二つの伝統行事があります。一つ目は「街道を歩く会」です。全校生徒が約30キロの道のりを歩く行事で、40年前から続いています。保護者や地域の方々の協力をいただき、道中は学年に関係なくみんなで励まし合い、協力しながら目的地を目指します。



編集委員 塚辺夏帆、伊藤聖莉、及川貴暉 (3年)
指導教員 永野沙織、児玉彩夏、穴戸豪

地域と関わる伝統行事

楽しい行事にしたいです。二つ目は「荒中えんころ」という踊りです。地域の「えんころ節」とい

う民謡と校歌をアレンジした演舞です。「えんころ節」は新しい舟を下ろす際などのめでたいときに歌われ、一説には、大漁により円(お金)が入るところ(たくさん)手に入るとい意味が込められます。今年度はえんころりーダー班と四つの縦割り班に分かれ、総合的な学習の時間に練習をし、荒浜中の文化祭である「交友祭」で、全校生徒で発表

わが校わがまち スクール通信



今回は 赤井小(東松島市) 不動堂中(美里町)

池と魚と樹木「くりりん」

栗生小

栗生小学校は蕃山とイカチ川の近くにある自然に囲まれた学校です。学校の敷地内にも「くりりん」という自慢のビオトープがあり、校木の「栗」とすてきな「林」に育ってほしいという願いから名付けられました。「くりりん」には100種類以上の樹木が植えられていて、季節ごとに私たちの目を楽しませてくれます。池をのぞくと、気持ちよさそうに泳ぐ魚たちを見るのができます。水のせせらぎの音もいいものです。一昨年、開校30周年を

校内設置のビオトープ



これがイチオシ おかずに幸運にんじん

栗生小学校のおいしい給食には「ラッキーにんじん」というレアなにんじんが入っています。サクラだったり、クマだったりと月によって形を変え、カレーライスや肉じゃがなど毎日のおかずに盛り込まれています。

だいたい60人に1人くらいの確率で、誰かのお皿に入っています。「ラッキーにんじん」を食べると、良いことが起こるかもしれないと言われています。自分や友達のお皿に「ラッキーにんじん」が入っていると、教室のみんなで喜びます。

学校名 仙台市立栗生小学校
所在地 仙台市青葉区栗生6の6の1
創立 1992年
電話 022(392)9324
校長 宮崎 佳子
児童 547人



草花が目鮮(あざ)やかな「くりりん」

編集委員 庄子叶望、琵琶坂莉央、大宮そよ風 (6年)
指導教員 佐藤晃子